

城西児童センター 「児童仲良し クラブ」



児童数・72人
職員数・3人
平日のスケジュール
放課後から18時までで、ゲームやスポーツ、将棋などで遊んだり、勉強をしたりします。

長期休みのスケジュール

8時から18時までで、その間に1時間、勉強の時間があります。それ以外は、自由に遊んだり、夏休みであればプールへ行ったりします。

レクリエーション

流しそうめん、スイカ割り、クリスマス会などの季節ごとの行事や、バス遠足など。

職員が気を付けていること
子供たちが事故やケガなどなく、楽しく安全に遊べること。



市への要望

外の遊具を増やして欲しいです。熱中症にならないよう、クーラーを設置して欲しいです。

ご家族に伺いました

Q. 利用して良かった事は？

A. 子供が1人で家にいるよりも、先生たちの目の届くところで、ほかの子供たちと一緒に遊んでいられるので安心です。土曜日や長期休みの時も利用出来ますし。

Q. 要望は？

A. 台風などのときはセンター

も休みになるので、利用出来るようになればいいです。

Q. 家族にとって、放課後児童クラブとは？

A. 勉強出来る環境も整っているし、先生が私たちの代わりに、子供の悪いところなどを注意してくれるので、とてもありがたいです。

「放課後児童クラブ」は もう一つの家



元気な子供たちに

圧倒されました

今回、放課後児童クラブ事情というテーマで、桂城児童センターの仲良しクラブと城西児童センターの仲良しクラブを取材させていただきました。どちらのセンターの児童も、とても元気で、圧倒されてしまいました。私たち全員が、子供たちに負けないうくらい元気に走り回って遊び、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

「ただいま！」と、元気にあいさつしながら、センターに帰って来る子供たちを、職員が「おかえり！」と言いながら迎える様子は、まるでもう一つの自分の家のように、とても温かい場所だなあと思いました。

とても充実した

内容です

学校から帰って来た子供たちは、それぞれ、宿題をしたり、読書をしたり、オセロやスポーツをしたりしながら、とても楽しそうに過ごしていました。また、様々なレクリエーションが組まれていて、私たちが考えていた以上に、充実した内容であるという事が分かりました。

館内に張られている行事の写真を見ながら「楽しかった」「もう一度行きたい」と、笑顔で話してくれる子供たちの様子

は、とても嬉しく、「仲良しクラブ」に参加するのが本当に楽しいのだなあと思いました。

また、職員から子供たちと遊んだり触れ合ったりする事で、元気をもらえると聞き、とてもやりがいを感じているのではないかと感じました。家族も、安心して子供たちを預けているため、仕事をすることが出来ているのではないのでしょうか。

将来を担う

大切な子供たち

社会変化や女性の社会進出などによる両親の共働き、祖父母との別居などで、子供たちが学校から帰っても、家に誰もいない現状があり、それは大館市も例外ではないようでした。

現在、国の最重要課題として少子化対策が打ち出されていますが、その具体的な活動として、大館市でも関係者の方々が地道に頑張っている姿を見ることが出来ました。取材に訪れた際、職員の「将来の大館市を担う大切な子供たちだから」との一言がとても印象的でした。

ご協力いただき

ありがとうございます

今回の取材を通じて、ますます児童福祉に関心を持つことが出来、これまで漠然とした知識しかなかった放課後児童クラブの役割を理解することが出来ました。最後にこのレポートにご協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。